

# つつじが丘小学校区 SC だより

SC とは、生活支援コーディネーターの略称です。 令和5年11月 vol.06

つつじが丘地区生活支援コーディネーターの土田です。  
11月に入りましたが、月初めは25℃以上の夏日のスタートとなりましたが例年と同様に、朝夕はとても寒くなりました。  
日中との寒暖差が激しいため、脱ぎ着できる上着などで体温調整をし、また室内でも換気等気をつけながら体調管理をしていきましょう。



## 子ども食堂のお話をさせていただきました



みんなで食べよう！

10月19日（木）に八幡地区民生児童委員協議会で子ども食堂についてお話をさせていただきました。

子ども食堂は、当初は生活に困った子ども達への支援を目的に始まりましたが、現在は色々な人が来て地域のつながりを作れる場という役割を担っています。

ます。色々な人が集まる中で、課題を抱える人が一緒に食事をとり、居場所となる中で、みんなで支えていく安らぎの場所でもあると考えています。

つつじが丘小学校区には、子ども食堂が3か所あります。

それぞれ活動場所や時間等が違いますので、気になる方はぜひお問合せください。



## つつじが丘子ども食堂講演会が開催されます

令和5年12月6日（水）10:00～つつじが丘コミュニティセンターで講演会を開催します。

今回は、つつじが丘子ども食堂が主催で、つつじが丘地区の色々な団体の取り組みを知り、お互いにコラボで何かできないかをテーマに開催します。

第1部では、NPO法人絆の山崎さんを講師にお呼びして「居場所からつながる地域づくり」をテーマにした講演、第2部では、団体どうしの強みを生かしたコラボができないかについてワークショップをします。

つつじが丘地区では、つつじが丘子ども食堂を始めとした子ども支援の団体や、多くの自治会・町内会で見守り活動、サロン活動など様々な活動があります。お互いの活動を知り、より良い地域づくりを目指します。

つつじが丘子ども食堂 講演会

何故居場所が必要とされるのか

に近所さんの顔を覚えてもらい、挨拶もしない、家に来ないものがないと話をすると嫌な顔をされ、子育ての悩みを相談できる場所がない。など、「地域の人とのつながり」が断絶になってきているご家庭も少なくありません。気軽に挨拶したり、一緒にご飯を食べたり、いろいろな悩みを相談できる、そんな居場所について、つつじが丘で様々な活動をしている皆さんと一緒に考えてみましょう。

令和5年12月6日（水）午前10時～12時  
会場：つつじが丘コミュニティセンター1期ホール

第1部【講演】  
居場所からつながる地域づくり **無料**  
NPO法人絆 代表理事 山崎紀恵子さん

第2部【ワークショップ】  
強みを活かしたコラボの取り組みについて考える

主催：つつじが丘子ども食堂  
後援：知多市 社会福祉協議会 090-1280-0994  
協賛：社会福祉法人 知多市社会福祉協議会  
実行：つつじが丘コミュニティ

この講演会は山崎代表理事、山崎代表理事の講演・ワークショップの開催を目的として行われます。